

OBTP022 課題解決研究I

2.0 単位, 2 年次, 通年 随時
松井 崇, 征矢 英昭, 西保 岳, 小野 誠司

授業概要

プロジェクトローテーションでの経験を基盤とし、研究指導教員及びプロジェクトリーダーの指導を受けながら、実践的研究プロジェクトにメンバーとして参加し、研究・実践を推進して報告書を作成する。

備考

選択

授業方法

演習

学位プログラム・コンピテンスとの関係

知の創成力, 研究力, 実践力

授業の到達目標(学修成果)

プロジェクトローテーションでの経験を基盤とし、実践的研究プロジェクトにメンバーとして参加・推進することを通して、専門領域の異なるメンバーとチームを組んで、社会的課題を解決するための研究を計画・推進し、その成果をまとめて報告書として発表する能力を身につける。

キーワード

実践的研究プロジェクト, チーム研究, 橋渡し研究, 実践報告書

授業計画

- 第1回 各自が参加・推進する研究・実践プロジェクトの検討
- 第2回 研究・実践プロジェクトへの参加準備と事前指導
- 第3回 研究・実践プロジェクトにおける役割の決定
- 第4回 各プロジェクトにおける研究・実践の計画への参加
- 第5回 各プロジェクトにおける研究・実践の基本的取り組みへの参加
- 第6回 各プロジェクトにおける研究・実践の基本的取り組みの検討への参加
- 第7回 各プロジェクトにおける研究・実践の応用的取り組みへの参加
- 第8回 各プロジェクトにおける研究・実践の応用的取り組みの検討への参加
- 第9回 各プロジェクトにおける研究・実践の結果整理
- 第10回 各プロジェクトにおける研究・実践のデータ解析
- 第11回 各プロジェクトにおける研究・実践の内容と成果に関する発表と指導
- 第12回 各プロジェクトで担当する研究・実践の具体的計画
- 第13回 各プロジェクトで担当する研究・実践の基本的取り組みの推進
- 第14回 各プロジェクトで担当する研究・実践の基本的取り組みの検討

- 第15回 各プロジェクトで担当する研究・実践の応用的取り組みの推進
- 第16回 各プロジェクトで担当する研究・実践の応用的取り組みの検討
- 第17回 各プロジェクトで担当する研究・実践の結果整理
- 第18回 各プロジェクトで担当する研究・実践のデータ解析
- 第19回 プロジェクトの実践内容・研究成果の発表と指導
- 第20回 プロジェクトの研究成果及び実践に関する報告書の作成

履修条件

原則として、次世代健康スポーツ科学履修モデル対象者

成績評価方法

研究活動の水準（50%）および実践報告書の内容（50%）により評価する。
評価に際しては、連携外部評価委員会にプロジェクトの報告書を提出して審査を受ける。

学修時間の割り当て及び授業外における学修方法

各プロジェクトにおける研究・実践活動、およびプロジェクトリーダーによる指導
1単位の取得には、授業時間（75分×授業回数）を含めて45時間の学修時間が必要であり、普段の研究活動の際に授業で得た知見を活用すること。

教材・参考文献・配付資料等

各研究・実践プロジェクトごとに、内容に応じて必要な資料を紹介する。

オフィスアワー等(連絡先含む)

オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡をしてから訪問すること。

その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)

他の授業科目との関連

- 0BTP021 プロジェクトローテーション
- 0BTP023 課題解決研究II

ティーチングフェロー(TF)・ティーチングアシスタント(TA)